



15年ぶりに復活した上浦幌開拓太鼓。「開拓」と「寿」の2曲を披露。パチを自在に操り、勇壮な中にも繊細な音楽を奏で、熱い演奏を繰り広げました。

日 上浦幌公民館まつり ごろの成果を発表

2月18日に上浦幌公民館まつりが開かれました。館内には、絵画や書などの力作がずらりと並んだほか、多彩な芸能発表が行われました。

※吉野公民館まつりは、運営スタッフの高齢化などで、実行委員会が組織できなかったため、今年度の開催が中止されました。

明 まちづくりワークショップ るい高齢社会へワークショップ

1月27日にまちづくりワークショップが中央公民館で開かれ、35人が参加しました。

少子高齢化が進む中、安全で安心して暮らせる高齢社会について議論。ワークショップ形式で、男女が意見を出しやすく、協力しやすい場をつくり、男女共同参画のまちづくりを体験しました。詳しい内容は、町ホームページで公開しています。



「明るい高齢社会に必要なこと」を5グループに分かれ議論。

シュウパウロウ(骨付き肉を使った塩ゆで)を作る井田さん。



シ 森・エゾシカ・人 新たな共生を考える集い カは大きな可能性を秘めている

1月22日にエゾシカの有効活用を探るフォーラムが中央公民館で開かれ、約50人が参加しました。

社団法人エゾシカ協会の井田宏之事務局長が、海外や道内の頭数管理やエゾシカの有効活用の事例紹介と、家庭でできるエゾシカ料理の実演・試食を行いました。井田さんは「エゾシカ有効活用は北海道の新たなビジネスチャンス」と話していました。

町出身漫画家吾妻ひでおさんの原画展 芸術の競演を堪能

浦幌町出身の漫画家、吾妻ひでおさん(東京都在住)の原画展と浦幌絵画サークルのジョイント展(2月4日ー18日)が、教育文化センターで開かれました。原画展用に制作された自画像や過去の作品のキャラクターなどの原画10枚と今までに発売された単行本が展示され、町外からも大勢の方が訪れていました。



絵画サークルの洗練された作品も数多く展示されました。

浦幌町小学生スピードスケート記録会 自己ベスト目指して力走

2月1日に第16回浦幌町小学生スピードスケート記録会が町民スケートリンクで開かれました。応援に訪れた父母の声援を受け、約300人の小学生が自己記録更新を目指して力走しました。

小学2年女子250メートルで諸澤真実さんが(31秒80)、小学4年女子500メートルで出口玲奈さんが(55秒38)が、大会新記録を出しました。



冬休みや授業での練習の成果を発揮した児童。

役場を訪れ、大会への意気込みを語った岸田君と谷川さん。



全国中学校スケート・アイスホッケー大会出場 持てる力を最大限に発揮

1月31日に全国中学校スケート・アイスホッケー大会(2月4日ー7日釧路市)に出場する上浦幌中学校の岸田昌也くん(2年)と谷川詩穂さん(1年)が、役場を訪れ八木町長と大谷教育長に大会への意気込みを語りました。大会では、岸田君がスピードスケート5000メートルで自己ベストを更新するなど、最高の大舞台で力を出し切りました。

芝よりも転がり、寄せ、カップ周りが難しいみたいです。



雪中パークゴルフ大会 芝とは違った感覚を楽しむ

1月19日に雪中パークゴルフ大会(商工会青年部主催)が、浦幌ゴルフ練習場内に造成された特設コースで開かれ、33人参加しました。

同大会は、電話帳(テレマップ)の広告料還元事業として、昨年から開催。大会は男女混成で行われ、松本光義さん(栄穂)が優勝、広瀬信行さん(平和)が準優勝しました。